

実践経営イノベーション講座2025

建設(建築)産業編

■日時:

2025年11月11日(火) 10:00~18:00

■講師:

現研シニアコンサルタント 泉 秀明

<コーディネーター> 現研所長 大槻裕志

■開催方式: Zoomによるオンライン開催



講師: 泉秀明

建設産業の未来を創ろう

2021年3月、現研経営考え方教室の新たなコースとして「実践経営イノベーション講座ー建設(建築)産業編」を開講致しました。

当講座において、講師の泉秀明が、海外での豊富なキャリアならびに建設企業の経営者としての経験に裏打ちされた徹底した実証分析と新たな理論の適用により日本の建設業の課題を解き明かし、建設業の未来を創る戦略を提示します。

当講座は、建設(建築)産業の基本構造、戦略、先端事情を体系的に学ぶことができる唯一無二の場としてご好評を頂き、年次開催を続けて本年5年目を迎えます。

ご参加をお勧めします。

現研所長 大槻裕志



プログラム

I. 日本建設産業の課題を解明する 10:00~14:30

1. 建設業の経営戦略の現状分析:

ー企業存続のための戦略構築へ

- 経営戦略論とは何か
- 過去40年の日本の建設産業の業績推移の分析
 - ー大手ゼネコン/中堅ゼネコン/機械設備工事会社/プラント設備工事会社/電気設備工事会社
 - ー2000年以降、各社の経営戦略はどう機能してきたか?
- 次の経営戦略へー今後の建設業をどのような軸で見るべきか?
(昼休み 12:00~13:00)

2. 日米建設業の事業構造の実証分析:

ー取引コスト理論の適用と比較制度分析による日米システムの解明から

- 日本の建設業はなぜ特殊と言われるのか?
- 取引コスト理論とは何か
- 建築プロジェクトマネジメント・システムはなぜ以下の3つの基本形を持つのか?
 - ー設計・施工方式
 - ー設計・施工分離方式
 - ーコンストラクション・マネジメント方式
- 日本の設計・施工方式と米国のコンストラクション・マネジメント方式はどの様にして生まれて発展してきたか?
- 「米国の合理」と「日本の合理」の解明

II. 建設業の未来を創ろう 14:40~17:40

1. グローバリゼーションにこう挑む:

- 塗り替わっている建設業界の世界地図
- グローバリゼーションの本質とは
- 建設業のグローバリゼーション推進へのポイント
 - ー取引コスト削減の意味を理解せよ/最適なプロジェクトマネジメント方式の選択/発注者とサプライチェーンに応じた理論的対応/失敗から学ぶ 他

2. デジタルイノベーションに挑戦する:

- 最先端で何が起きているかー様々なイノベーション事例
- 施工代替ロボットシステム/施工管理ロボットシステム/BIMプラットフォームから生起する新しい現実
- ゲームチェンジャーとしてのデジタルイノベーション
- BIM・AI・ICT・ROBOTICSを進化させて競争優位をこう築こう

コンサルティングアワー

17:40~18:00

講師ならびに参加者相互で自由にディスカッションを致します。

当講座の詳細は右のQRコード、および以下のURLから見るができます。

<https://www.gen-ken.co.jp/innovation/>

